

# 竹村ほまれ 後援会だより

2013/4/20 No 008

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ: [竹村ほまれ](#) と入力し検索を

## 企業誘致の状況 I



中沢区菅沼地籍に建設中のアロマセラピー関連商品を主に製造販売する「カイヤナティブー」株の本体工事が5月末竣工を目処に進んでいます。新宮川東信宮を南下した県道沿いの工場は中央アルプスと天竜河畔を眺望できる立地にあり、地元雇用の創出と地元産の原料を使い地域活性化が期待される一方、安全な操業と景観との融合が望まれるところです。操業は夏以降の模様です。

## ☆24年度「ほまれ」が市政を質した主な課題は

### 平和問題

#### ○オスプレイの配備撤回と訓練

##### 中止の声を駒ヶ根から

墜落の危険性や、環境にも悪影響が懸念されるオスプレイの配備や訓練は駒ヶ根市といえども他人事ではない。この問題に対する市長の基本的立場と、県下で計画される飛行訓練の中止を当市としても市長会を通じて求めたいと考えます。

また、危険な訓練計画やルートを、米軍に公開させる様、国に求めたい考えを質しました。

### 福祉

#### ○民生児童委員の対偶改善

民生児童委員は市民生活に深く関わり、増え続ける過重な相談等の負担を日々抱えて活動しています。委員の物理的な負担軽減策や経済的負担を保障し安心して活動ができる環境整備と、安心して相談できる市民生活を求めて市側の態度を質しました。

#### ○市民の見守りで安心して生活できるネットワークを

社会問題となっている「孤立死」や「孤独死」の実態はどうかであり、他業種 農協新聞ガス検針等も巻き込んだ日常的な見守りが図られる施策を、当市としても実施すべきだとして市長の見解を質しました。

### 生活

#### ○こまちゃんバス全廃による移動手段の確保と方策は

・こまちゃんバス「全廃」が市側より提案されました。日々運行し安価で

#### ○デマンドタクシーの方策は

市民の声や運動、一般質問もあり12月にデマンドタクシー導入提案がされ、議会でデマンド提案の充実に求める一方で、デマンド、タクシー券をしても尚救えないの方策はどうするのか、市側の態度を質し、市民の足を確保する展望を質しました。

#### ○鳥獣被害の実態と対策は

山間地の深刻な鳥獣被害の実態と山林被害保護対策と駆除等の対策を質す一方で、無管理状態にある中沢区南入の鳥獣対策や、野生動物の糞尿による水道水源の汚染による水源地管理の対応を質しました。

### 保育・教育

#### ○駒ヶ根市の保育政策は

国の制度として計画されている幼稚園一体改革は財政効率や待機児童解消のみに固執したもので心配されます、当市の対応と実態を質す一方で、老朽化する公立保育園幼稚園の改築の見直しと計画、経塚保育園改築に伴う「子育て拠点施設」の目的と方向性を質しました。

#### ○新中学校建設計画の再検討は

当市は県内ワースト1の将来負担比率など深刻な財政状況や答申時と条件が変化してきている。新中学校建設計画を考えた時、再検討のテーマにのせる考えはないか質し、答申に縛られない第4次総合計画の策定を要望しました。裏面に続く



野菜や稲作の忙しい時季を迎えました。

## 任期折り返し

異常気象の一年、寒い冬が終わり、一気に春が巡ってきました。花々が競つように咲き乱れ良い季節を迎えましたが、暑かった昨年より今年は更に暑い夏を予想する報道もあり心配するところです。

任期の折り返しにあたる2年が経過する議員活動の中では、皆さまに多方面にわたり教えや助言を頂くことで、臆することなく正面から市政に携わり活動させて頂いております。このことを先ずもって御礼申し上げます。

残る2年の任期も思いのたけを市政発展のために尽力する所存でありますので、今後とも相変わらずご指導とご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

### 3月議会の一般質問

#### ☆生活保護基準

##### 引き下げの影響は

**質問** 国民の最低生活を保障する、生活保護基準の引き下げは行われるべきではない。国の改正の動きがある中で、当市における生活保護世帯の実態と基準が引き下げによる影響をどのように捉えているか。

##### 当市では影響が少ない

**市長** 対象世帯は63世帯84人。高齢者単身世帯の多い当市では制度改正による影響は比較的少ないとみる。市の影響予測として25年度2.7%減額の54万円、27年度6.5%減額の130万円という年間に於ける影響があるともみている。

#### ☆引き下げ影響を

##### 市の制度として助成を

**質問** 国の制度改正により生活保護基準が引き下げられたとしても、市単独でも影響を受ける困窮者を支援する助成措置をとるべきだと考えるが、市長の考えは。

##### 市として上乗せは考えない

**市長** 国の責務であって、市として今ある制度の中で最大限出来る事に対処していく。

### 企業誘致の状況 II



大徳原に建設予定の有機食材調味料等の商品を製造販売する「七福醸造 株」の「商品倉庫」の造成工事が進められています。養命酒麹ヶ根工場の際に位置する造成地は南アルプスを眺望する立地で、当面の間は倉庫建設に留まり、ゆくゆくは周辺用地を拡張し、地元食材で操業する工場を建設したいとしています。計画通り実現され、地元活性化が図られるよう期待するものです。

※ほまれ 生活保護基準の引き下げは、生活水準を際限なく引き下げることに繋がる。ポーターラインで生活する方々の影響調査と支援の手が差し伸べられるように要望する。

#### ☆異常気象の経済負担を支援する制度は

**質問** 異常気象により、経済負担を強いられる低所得者層を支援するべきだが、制度導入の考えは。

##### 都度対応していく

**市長** 一律に補助する制度は難しい、地域の声を聞く中でその都度対応していきたい。



#### ☆福祉灯油購入補助は

**質問** 県内の自治体で灯油の購入補助が広がっている。寒波によるこの冬の低所得者層への暖房負担を救うため、福祉灯油支援をどう考えるか。

#### 推移をみる中で判断

**市長** 今後のいろいろな動向を見る中で総合的に判断していく。

※ほまれ 急激な原油高騰による影響は生活弱者に留まらず農業や市内中小企業福祉施設等にも重くのしかかる。実態調査の上、直接補助や融資制度拡充も視野に入れて対応されるよう要望する。

#### ☆公共交通の今後の

##### 位置づけを展望して

**質問** 駒ヶ根市の将来に亘っての活性化を展望した時、公共交通の果たす役割は今後重要視されると考えるが、位置づけと展望は。

##### 交通網整備を進めていく

**市長** 日常生活を支える交通の確保を礎とした上、近隣市町村や全国を繋ぐ交通網のアクセラ整備をしていきたい。

#### ☆駅舎と連携した

##### 活性化の展望は

**質問** 駒ヶ根駅の無人化問題に端を発した駅舎の利活用を契機に、周辺市街地と連携した活性化が図れないか考えるが、具体的な考えは。

#### 中心市街地再生と

##### 関連させることが有効

**市長** 市街地再開発事業を目指した住民組合が発足した。駅舎が集客に貢献する魅力的な施設であれば賑わいの創出や誘客に繋がると思っています。都市計画との整合性を図りながら景観に配慮した魅力的効果的な街づくりを目指します。